



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 中国工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5974 URL <https://www.ckk-chugoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 小田 和守 TEL (0823) 72 - 1322
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月8日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	13,752	△0.7	330	△20.5	446	△10.1	312	△16.9
2025年3月期	13,843	3.8	415	101.5	497	76.2	376	82.5

(注) 包括利益 2026年3月期 685百万円 (81.6%) 2025年3月期 378百万円 (△42.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	95.92	—	5.5	3.5	2.4
2025年3月期	115.83	—	7.2	3.9	3.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	12,996	6,489	45.9	1,826.95
2025年3月期	12,449	5,866	43.2	1,657.12

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,963百万円 2025年3月期 5,383百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	700	△130	△214	632
2025年3月期	1,017	△205	△833	277

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	—	—	20.00	20.00	63	17.3	1.2
2026年3月期	—	—	—	23.00	23.00	74	24.0	1.1
2027年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00		29.1	

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	14,000	1.8	350	6.1	450	0.9	270	△13.5	78.95

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	3,420,000株	2025年3月期	3,420,000株
2026年3月期	155,746株	2025年3月期	171,173株
2026年3月期	3,260,014株	2025年3月期	3,248,868株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,511	△0.5	345	△15.0	433	△9.6	313	△14.3
2025年3月期	11,573	5.6	406	136.0	479	104.3	366	97.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	95.42	—
2025年3月期	111.73	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	10,480	5,488	52.4	1,666.91
2025年3月期	9,952	4,936	49.6	1,506.35

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,488百万円 2025年3月期 4,936百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2 ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本的な考え方	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、円安や賃金上昇によるインフレ傾向のもと推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境においても、諸資材、電力エネルギー費用、運賃等の上昇基調が続きました。

このような経済情勢のもと、当社グループは引続き受注の拡大に努め、売上については鉄構機器事業、施設機器事業及び運送事業は増収となりましたものの、高圧機器事業は減収となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は137億52百万円(前期比90百万円の減収)となりました。利益面においては、売上高の減少等により、営業利益は3億30百万円(同85百万円の減益)に、経常利益は4億46百万円(同50百万円の減益)に、親会社株主に帰属する当期純利益は3億12百万円(同63百万円の減益)となりました。

なお、前期は退職給付債務に関する数理計算上の差異（退職給付債務の減少額114百万円）を営業費用の減額として一括処理しました。前期対比の主な減益要因はそれに起因するものであります。

報告セグメントの種類別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

高圧機器事業…… プラント工事の受注等の減少により、売上高は90億69百万円となり、前期を3億51百万円(3.7%)下回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、前期を84百万円(11.8%)下回る6億33百万円となりました。

鉄構機器事業…… 売上高は5億36百万円となり、前期を24百万円(4.7%)上回りました。一方、セグメント利益(営業利益)は、製造コストの上昇等により、前期を19百万円(44.2%)下回る24百万円となりました。

施設機器事業…… 売上高は19億57百万円となり、前期を2億35百万円(13.7%)上回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、前期を27百万円(23.6%)上回る1億44百万円となりました。

運送事業…… 貨物取扱量が横ばいで推移し、売上高は21億88百万円となり、前期を1百万円(0.1%)上回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、燃料等のコスト上昇分の一部を転嫁できたため、前期を5百万円(106.9%)上回る10百万円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末総資産は、前連結会計年度末(以下「前期」という。)と比較して5億46百万円(4.4%)増加し、129億96百万円となりました。主な要因は、受取手形が1億81百万円、原材料及び貯蔵品が2億9百万円減少したものの、現金及び預金が3億65百万円、投資有価証券が5億23百万円増加したことによるものであります。

負債は前期と比較して76百万円(1.2%)減少し、65億6百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が1億45百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が1億28百万円、電子記録債務が1億13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、純資産は前期と比較して6億22百万円(10.6%)増加し、64億89百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が2億48百万円、その他有価証券評価差額金が3億23百万円増加したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、前期に比べ3億55百万円(128.4%)増加し、6億32百万円となりました。なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と主な内訳は以下のとおりであります。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、7億円でありました(前期は得られた資金が10億17百万円)。これは、主に仕入債務は減少したものの、税金等調整前当期純利益の計上、棚卸資産の減少によるものであります。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1億30百万円でありました(前期は使用した資金が2億5百万円)。これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、2億14百万円でありました(前期は使用した資金が8億33百万円)。これは、主に借入金の返済によるものであります。

〔キャッシュ・フロー関連指標の推移〕

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
自己資本比率(%)	37.4	38.0	43.2	45.9
時価ベースの株主資本比率(%)	17.5	15.2	13.3	21.3
債務償還年数(年)	△27.4	7.7	1.5	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	△9.1	32.1	92.0	71.7

(注) 1. 自己資本比率：自己資本/総資産

2. 時価ベースの株主資本比率：株式時価総額/総資産

3. 債務償還年数：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値によっております。

※株式時価総額は期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式数によっております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払金額を使用しております。

（4）今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、国内におけるインフレ基調のもと、海外紛争に起因する石油関連製品の調達懸念も加わるなか、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループは受注の拡大や主要諸資材の値上げに対応した販売価格の是正に努めるとともに、運送コスト増加への的確な対応やDX化推進などの経営効率化に努め、安定した利益の確保に努める所存であります。

次期の売上高は、主力製品のLPガス容器や施設機器事業を中心に前期に比べ増加が見込まれます。

利益面におきましては、主要諸資材の仕入価格上昇に対応した製品販売価格の引上げやコストダウンにより、可能な限り増加を図っていく所存であります。

なお、事業の種類別セグメントの売上高及び連結業績の見通しは次のとおりであります。

（単位：百万円；％）

事業の種類別セグメントの名称	売上高	構成比
高压機器事業	9,250	66.1%
鉄構機器事業	550	3.9%
施設機器事業	2,000	14.3%
運送事業	2,200	15.7%
合計	14,000	100.0%

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円
2027年3月期(予想)	14,000	350	450	270
2026年3月期(実績)	13,752	330	446	312
増減率	1.8%	6.1%	0.9%	△13.5%

（5）利益配分に関する基本的な考え方

株主の皆様への安定配当を経営の重要な課題と位置づけ、当期の業績と今後の事業展開に必要な内部留保の確保及び今後の業績見通しを勘案しながら適切な配当政策を採ることとしております。この方針に基づき、当期の配当につきましては、当期の利益と今後の見通しを総合的に勘案し、当期末の配当を1株あたり23円（前期比+3円）とさせていただきます。

次期の配当につきましては、安定配当の観点及び今後の事業展開等を勘案して引き続き1株あたり23円とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外での事業展開や資金調達を行っておりませんので、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	512	877
受取手形	246	65
電子記録債権	725	736
売掛金	2,966	3,012
契約資産	10	42
製品	268	285
仕掛品	799	828
原材料及び貯蔵品	549	339
その他	103	103
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,181	6,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,720	2,768
減価償却累計額	△2,203	△2,241
建物及び構築物（純額）	517	527
機械装置及び運搬具	4,783	4,842
減価償却累計額	△4,247	△4,322
機械装置及び運搬具（純額）	535	520
土地	2,503	2,503
リース資産	330	327
減価償却累計額	△195	△206
リース資産（純額）	135	120
建設仮勘定	38	14
その他	668	711
減価償却累計額	△633	△656
その他（純額）	35	55
有形固定資産合計	3,766	3,742
無形固定資産	125	104
投資その他の資産		
投資有価証券	2,235	2,759
繰延税金資産	2	2
退職給付に係る資産	6	7
その他	169	131
貸倒引当金	△39	△42
投資その他の資産合計	2,375	2,858
固定資産合計	6,267	6,706
資産合計	12,449	12,996

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085	956
電子記録債務	1,430	1,317
短期借入金	913	906
リース債務	42	42
未払金	215	274
未払費用	103	98
未払法人税等	95	130
未払消費税等	84	62
前受金	5	10
賞与引当金	159	165
役員賞与引当金	7	7
製品補償引当金	-	26
その他	54	40
流動負債合計	4,198	4,038
固定負債		
長期借入金	480	390
リース債務	93	79
繰延税金負債	357	502
役員退職慰労引当金	22	-
退職給付に係る負債	1,404	1,469
その他	25	25
固定負債合計	2,383	2,467
負債合計	6,582	6,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710	1,710
資本剰余金	329	329
利益剰余金	2,596	2,844
自己株式	△147	△139
株主資本合計	4,487	4,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	896	1,219
その他の包括利益累計額合計	896	1,219
非支配株主持分	483	526
純資産合計	5,866	6,489
負債純資産合計	12,449	12,996

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	13,843	13,752
売上原価	11,035	10,990
売上総利益	2,807	2,762
販売費及び一般管理費	2,392	2,432
営業利益	415	330
営業外収益		
受取配当金	66	81
保険解約返戻金	-	31
その他	26	18
営業外収益合計	93	131
営業外費用		
支払利息	10	9
その他	0	4
営業外費用合計	11	14
経常利益	497	446
特別利益		
固定資産売却益	4	6
投資有価証券売却益	59	52
ゴルフ会員権売却益	-	5
特別利益合計	64	64
特別損失		
固定資産除売却損	0	3
ゴルフ会員権評価損	6	-
特別損失合計	6	3
税金等調整前当期純利益	555	507
法人税、住民税及び事業税	158	197
法人税等調整額	2	△21
法人税等合計	161	176
当期純利益	394	331
非支配株主に帰属する当期純利益	18	18
親会社株主に帰属する当期純利益	376	312

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	394	331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	353
その他の包括利益合計	△16	353
包括利益	378	685
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	362	636
非支配株主に係る包括利益	15	49

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,710	329	2,277	△147	4,169
当期変動額					
剰余金の配当			△57		△57
親会社株主に帰属する当期純利益			376		376
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	318	△0	318
当期末残高	1,710	329	2,596	△147	4,487

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	909	909	474	5,553
当期変動額				
剰余金の配当				△57
親会社株主に帰属する当期純利益				376
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△13	△13	9	△4
当期変動額合計	△13	△13	9	313
当期末残高	896	896	483	5,866

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,710	329	2,596	△147	4,487
当期変動額					
剰余金の配当			△64		△64
親会社株主に帰属する当期純利益			312		312
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		8	8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	0	248	7	256
当期末残高	1,710	329	2,844	△139	4,744

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	896	896	483	5,866
当期変動額				
剰余金の配当				△64
親会社株主に帰属する当期純利益				312
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	323	323	42	366
当期変動額合計	323	323	42	622
当期末残高	1,219	1,219	526	6,489

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	555	507
減価償却費	348	331
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	3
前受金の増減額 (△は減少)	△288	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△61	64
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	-	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16	6
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	-	26
受取利息及び受取配当金	△66	△81
支払利息	10	9
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△4	△2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△59	△52
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	-	△5
保険解約返戻金	-	△31
売上債権の増減額 (△は増加)	716	93
棚卸資産の増減額 (△は増加)	129	164
その他の資産の増減額 (△は増加)	8	△1
仕入債務の増減額 (△は減少)	△95	△242
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20	△21
その他の負債の増減額 (△は減少)	△47	43
小計	1,130	792
利息及び配当金の受取額	66	81
利息の支払額	△11	△9
法人税等の支払額	△168	△163
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,017	700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△36	△46
定期預金の払戻による収入	36	36
有形固定資産の取得による支出	△239	△253
有形固定資産の売却による収入	5	4
有形固定資産の除却による支出	-	△1
無形固定資産の取得による支出	△6	△4
投資有価証券の取得による支出	△35	△7
投資有価証券の売却による収入	71	57
ゴルフ会員権の売却による収入	-	7
保険積立金の解約による収入	-	76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△570	-
長期借入れによる収入	200	130
長期借入金の返済による支出	△349	△227
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△49	△47
配当金の支払額	△57	△64
非支配株主への配当金の支払額	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△833	△214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22	355
現金及び現金同等物の期首残高	299	277
現金及び現金同等物の期末残高	277	632

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に製品別及び顧客業態別に「高圧機器事業」「鉄構機器事業」「施設機器事業」「運送事業」の4事業に分類し、当該4事業を報告セグメントとしています。

「高圧機器事業」は、高圧ガス容器（LPガス及びその他の一般高圧ガス）、LPガスバルク貯槽、LPガス設備、LPガス貯槽、その他の高圧ガス貯槽の製造販売、高圧ガス関連設備の設計施工を行っております。

「鉄構機器事業」は、鉄鋼メーカー向けインナーカバー及びその他各種鉄構製品の製造販売を行っております。

「施設機器事業」は、飼料用タンク及びコンテナ、廃水処理装置、畜産機材、薬品タンク、脱臭装置及びその他各種FRP（強化プラスチック）製品の製造販売を行っております。

「運送事業」は、一般区域貨物運送業、引越業、倉庫業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益であります。セグメント間の内部売上高は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1、2、3	連結財務諸表計 上額 (注)4
	高压機器 事業	鉄構機器 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,421	512	1,722	2,187	13,843	-	13,843
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	-	-	690	690	△690	-
計	9,422	512	1,722	2,877	14,534	△690	13,843
セグメント利益	718	44	117	4	885	△470	415
セグメント資産	5,998	552	710	2,565	9,827	2,621	12,449
その他の項目							
減価償却費	198	9	10	81	300	48	348
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	177	0	15	71	265	9	274

- (注) 1 セグメント利益の調整額△470百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分してい
ない全社費用△473百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総
務部等管理部門に係る費用であります。
- 2 セグメント資産の調整額2,621百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9百万円は、全社資産の設備投資額であり、減価償却費の調
整額48百万円は全社資産の調整額であります。
- 4 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1、2、3	連結財務諸表計 上額 (注)4
	高压機器 事業	鉄構機器 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,069	536	1,957	2,188	13,752	-	13,752
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	-	-	723	723	△723	-
計	9,069	536	1,957	2,912	14,476	△723	13,752
セグメント利益	633	24	144	10	814	△483	330
セグメント資産	5,559	609	868	2,638	9,676	3,319	12,996
その他の項目							
減価償却費	178	10	7	81	278	53	331
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	102	50	9	73	235	53	289

- (注) 1 セグメント利益の調整額△483百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分してい
ない全社費用△488百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総
務部等管理部門に係る費用であります。
- 2 セグメント資産の調整額3,319百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額53百万円は、全社資産の設備投資額であり、減価償却費の
調整額53百万円は全社資産の調整額であります。
- 4 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）		当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）	
1株当たり純資産額	1,657.12円	1株当たり純資産額	1826.95円
1株当たり当期純利益金額	115.83円	1株当たり当期純利益金額	95.92円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	

（注） 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	376	312
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	376	312
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,248	3,260

（重要な後発事象）

該当事項はありません。